

2024年 県教組 恒例 お楽しみクイズ

☆ブギウギ賞
商品券 5,000円分 5本

☆ゆうゆう賞 (ゆうゆう共済提供)
図書カード 2,000円分 10本

☆ロッキー賞 (中央ろうきん提供)
クオカード 1,000円分 20本

☆ペンギン賞
図書カード 1,000円分 10本

☆ミステリー賞
10本 (中身は???)

問題1 「学校の働き方改革」の議論で、教員の本務である授業時数の多いことが問題である (カリキュラムオーバーロード)として、6日制で勤務時間が週44時間だった時と同じ授業時数を、5日制で週38時間45分になった今も求められているという問題が指摘されています。この授業時数を示した言葉は次のどれでしょうか？

- (1) 下限授業時数
- (2) 標準授業時数
- (3) 働かせ放題授業時数

※県教組は、標準時数は最低基準ではなく結果的に下回っても問題がないことを県教委と確認し、このこの学校への周知と、日教組とともに授業時数を規定した学習指導要領の改訂を求めています。

問題2 昨年7月、国連のグテーレス事務総長は「地球温暖化の時代は終わり、地球○○○の時代が来た」と述べ、「最悪の事態はまだ食い止めることができる。気候変動対策を今すぐ加速させるのです」と各国政府などに気候変動対策の加速を求めました。この○○○に入る言葉は何でしょう？

- (1) 高温化
- (2) 寒冷化
- (3) 沸騰化

※昨年は、気温だけでなく海水温も過去最高となり、農水産物への影響や山火事の頻発などの多くの問題が起こりました。

問題3 今月から内容が大幅に拡充された制度で、株式や投資信託など購入した金融商品から得られる利益の非課税期間が20年から無期限になったり、年間投資限度額の上限が上げられたりするなど、利用者のメリットが拡大したのは、次のうちどれでしょう？

- (1) 新NISA
- (2) A.R.E
- (3) iDeCo

※イギリスの個人貯蓄口座 (ISA) をモデルにした日本版ISAのことです。ろうきんでは、さまざまな商品を用意して、組合員のセカンドライフへの備えを助めています。問い合わせは中央ろうきんの各支店へ。

【応募方法】「支部・分会・氏名・クイズの答え」(すべて自筆のものに限ります)を記入して県教組にFAXをお送りください。
FAX080-0800-0550 (県内フリーFAXなので学校からでもOK) ※切 1月31日 (水)

組織内議員 群馬県議会議員 本郷高明より



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

はじめに、1月1日に発生した能登半島地震によりお亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。

昨年は、世界各地の武力衝突により国際秩序が揺らぎ、各国の政治や経済が大きな影響を受けた一年でした。またエネルギーや原材料価格の高騰、労働力不足などは依然として続いており、社会を取り巻く環境は不透明感を増しています。

このような状況下で、特に今、政治がおかしくなっています。人へ、未来へ、まっとうな政治へ、何より教育予算拡充、授業準備のための時間確保、教員・スタッフ配置拡大、学習指導要領の見直しに向けて全力で頑張ります。

本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

中央労働金庫 登録金融機関 関東財務局長(登金)第259号

新 NISA を
はじめてみませんか

相談はこちら

中央ろうきんの取扱投資信託商品について動画で分かりやすく説明!

投資信託紹介

取扱商品の説明 取扱商品の併せ持ちの効果 インターネットでの購入方法 他にも多数のコンテンツをラインアップ

動画を観て気づいたらWebでカンタン手続き!

(中央ろうきん)へ取次ぎを希望の方は組合事務所まで商品や制度の詳細は(中央ろうきん)群馬県内各支店へお問い合わせください。

詳しいお問い合わせは、群馬県内の各支店までご連絡ください

前橋支店 (027) 252-5301	伊勢崎支店 (0270) 25-4742
群馬県庁出張所 (027) 223-2041	桐生支店 (0277) 43-5301
前橋東出張所 (027) 261-6111	太田支店 (0276) 46-5171
高崎支店 (027) 365-3333	館林支店 (0276) 72-1131
高崎東支店 (027) 353-6111	渋川支店 (0279) 22-1981
富岡支店 (0274) 62-2222	沼田支店 (0278) 24-2211
藤岡支店 (0274) 22-3333	中之条支店 (0279) 75-2231
安中支店 (027) 382-1821	

2024年1月1日現在



発行所
前橋市大手町3の1の10
(教育会館)
電話 (027)231-1151(代)
群馬県教職員組合



群馬県教職員組合HP
http://gtunet.com



謹賀新年

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。新しい年が幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

平和と人権について考えさせられる事態が続いています。ロシア軍によるウクライナへの軍事侵攻は未だに終わりが見えない状況です。加えて、ハマスによる虐殺に端を発した、イスラエル軍のパレスチナガザ地区への無差別攻撃が続いており、ガザ地区では、子どもを含めた非常に多くの民間人の尊い命が犠牲となっています。イスラエルの無差別攻撃の中、泣きわめきながら必死に逃げる子どもたちの姿を想像すると、深く心を痛めます。人間の成すこととは思えない「大量殺戮」に強く抗議し、日教組や平和フォーラムの仲間とともに、平和と人権が守られた国際社会の実現に向けてとりくみを続けます。

日本国内に目を向けると、政府は国会での十分な議論のないまま、昨年末に、「防衛装備移転三原則」の運用指針を国家安全保障会議及び閣議で改定しました。この改定で、殺傷能力のある武器輸出も可能となりました。十分な議論なく憲法の精神に反するこの改定は、断じて容認することはできません。

教員不足、教員のなり手不足の状況は深刻です。一刻も早く、この状況を改善しなければなりません。最大の解決策は、働き方改革と処遇改善をすすめることです。これまで、中教審の「質の高い教師の確保特別部会」において、教職員の働き方についての議論が続けられてきました。そして、いよいよ今年早々からは、給特法も含めた教職員の処遇についての議論も本格的に始まります。しかし、現場の実態を踏まえた働き方改革や処遇改善に結び付くかどうかは予断を許さない状況です。

昨年、県教組は全国の仲間たちとともに、「学校の働き方改革、給特法の廃止・抜本的見直し」を求める署名や街宣行動等にとりくんできました。今年も引き続き、給特法の廃止・抜本的見直しを求めるとともに、教職員定数増と大幅な業務削減による一層の働き方改革の前進を求めて、皆さんとともにとりくみを進めていきます。引き続き、ご理解とご支援をお願いいたします。



組合加入はスマートフォンインターネットからも! **仲間の声を広げよう! 組合加入はこちら**



県教委交渉の詳細II

今年度の県教委交渉が昨年11月22日に妥結しました。その交渉で県教組が求めたことや、県教委各課と合意した内容について数回にわたって詳しく伝えています。今回はその2回目です。

【特別支援教育を担当する教員の持ち時数】

標準授業時数を大きく超えた授業時数が「学校の働き方改革」を妨げている問題（カリキュラムオーバーロード）は12月号で述べましたが、それとは違う要因で特別支援教育に携わっている教員は、1週間のうち空き時間がほとんどない、休憩時間がとれないという問題は以前から言われていました。これを解決するために県教組は、授業準備や評価などの時間を考え、適切な持ち時数となる具体策を求めました。県教委は、適正な持ち時数設定のための校内支援体制の工夫について、市町村教委や校長会にはたらきかけると回答し、妥結しました。市町村の支援員の配置や校内での体制づくりが求められます。

【ハラスメントの根絶】

ハラスメントの根絶については県職連交渉でも重大な課題として協議され、県教委にも根絶に向けた対処を求めました。交渉では、管理職によるハラスメント、同僚へのハラスメントの例をあげ、「ハラスメント防止指針」は徹底されていないことや、ハラスメントによる病休・休職者・離職者も出ていることから、徹底した取組を求めました。県教委は、教職員からの相談には迅速に対応すると回答しましたが、懲戒処分を含めた具体的な回答には至りませんでした。県教組は、個々の案件について教委と情報交換を行いながら個別に解決を求めるとともに、すべての職場からハラスメントがなくなるよう、教職員が安心して子どもに向き合えるようとりくみを進めていきます。

【保護者対応】

学校や教職員にくる保護者からの過度な要求や執拗なクレームが、教職員の労力と時間を割き、大きな負担になっていることから、具体的な対応と教職員を守る制度を求めました。県教委も、保護者からの相談には対応に苦慮するものがあるとの認識を示すとともに、市町村教委と連携して、また、必要に応じて教育事務所や県教委も対応するとの回答になりました。昨年度まで2年間、試験的に配置していたスクールロイヤーの県による配置は今年度なくなっていますが、この問題は学校内で抱えることなく、早めに教委に情報提供して対処することが必要です。

【職場復帰支援】

病休からの復帰をめざす教職員がスムーズに復帰支援訓練に臨めるよう、管理職の理解や職場の協力体制づくりを求めました。交渉では、マニュアルに則って行われていない事例をあげ、職場復帰に向けて円滑に行われるよう、復帰訓練の趣旨・目的に沿って、管理職を含む全職員への周知を図っていくことになりました。

1月28日告示 2月4日投票



連合群馬が 前橋市長選挙 小川あきらさんを推薦決定

連合群馬は、11月27日に臨時執行委員会を開いて、2024年2月4日投票の前橋市長選挙に立候補予定の小川あきらさん（現県議会議員、41歳）を推薦することを決定しました。連合群馬の推薦決定を受け、県教組も小川さんの当選に向けてとりくみます。

お知らせ 定年延長教職員の組合費について

2023年5月27日に行なわれた136回定期大会において、定年延長に関わっての組合費については以下のように決定しています。ご確認ください。組合費に関するお問い合わせは県教組本部までお願いいたします。

定年延長者：4,500円(全職種)、定年前再任用短時間勤務者：1,000円(全職種)

「母と女性教職員の会」群馬県集会にお越しください

女性部では2月17日(土)10時から群馬県教育会館において、「母と女性教職員の会」群馬県大会を開催します。今回は分科会のみで開催となります。

第1分科会では、退職女性教職員の会碓氷支部の皆さんによる戦争体験の紙芝居を観て平和とは何かを考えます。

第2分科会では、ハレルワ代表の間々田久渚さんの話を聞き、LGBTQ問題から多様性について考えます。

第3分科会では、彩保健室の藤野綾子さんの話を聞き、性教育から命の大切さを考えます。

参加を希望する方は、いずれか1つの分科会を選んで申し込みをしてください。たくさんの方の参加をお待ちしています。



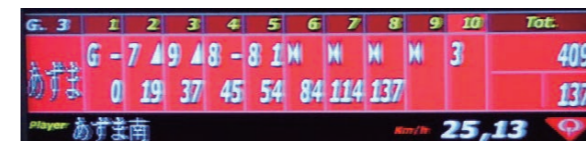
カムバックセミナーを実施しました！

11月25日、群馬県教育会館において、来年度2学期までに復帰する育休者を対象に「カムバックセミナー」を開催しました。セミナーでは、昨年このセミナーを受講し、育休から復帰した剣持華子さん(渋川市立金島小)、岡本真奈さん(富岡市立丹生小)が講師となり、ご自身の一日のタイムスケジュールの紹介や学校での様子を話しました。また、子育てにかかわる休暇について、吉岡中の小金井さんからいねいな説明がありました。

参加者からは「復帰した方が1日のタイムスケジュールを話してくださったのが、とても参考になった。」「育児に関する休暇制度について、実際に利用している人の話が聞けて良かった。」「復帰する前に学校の様子が分かり安心した。」「復帰に向けて前向きな気持ちになった。」などの感想がありました。



🔴🟡 ハイレベル！ 青年部ボウリング大会 🟢

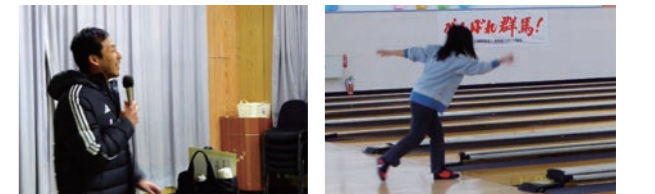


青年部は12月26日、高崎パークレーンで「ボウリング大会」を開催し、29名が参加しました。大会は3～4名が交代で6ゲームを行うチーム対抗戦です。

同じ学校の人が集まったチームだけでなく初対面の人も入ったチームもありましたが、どのチームもゲームが進むごとに打ち解けていきました。

今回は4連続ストライクが飛び出すなどハイレベルな争いとなりました。接戦の末、伊勢崎あずま南小チームが優勝しました。

結果の集計の間に平石青年部副部長が組合についての説明をしました。未組合員の参加も多かったため、県教組について理解を促す場にもなりました。



群馬県内の教職員の助け合い制度

「ゆるゆる共済」の募集キャンペーンがスタート！

週	日程	訪問地区
第1週	1/22(月)～1/26(金)	高崎・碓氷・群馬
第2週	1/29(月)～2/2(金)	太田・甘楽・多野
第3週	2/5(月)～2/9(金)	県央(伊勢崎)・桐生・邑楽
第4週	2/13(火)～2/16(金)	県央(前橋)・北群馬・吾妻・利根

※上記の日程にかかわらず、太陽生命の訪問員が学校を訪問する場合があります。

ポイント

- ・教職員の定年延長にあわせて、新規加入できる年齢を現行60歳までを65歳までに引き上げ。
- ・継続加入できる年齢も、生活サポートコースは70歳から80歳へ、介護充実コースは70歳から75歳へ、入院一時金コースは69歳から75歳へ、それぞれ引き上げ。

お知らせ

- ・介護充実コースは、昨年の募集で加入者が多かったため、保険料率のランクが変わり、6月からの掛金が月額250円～25円引き下げになっています。